

Pioneer

AR HUD ユニット

ND-HUD10

取付説明書

車への取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取付・配線や取り外しを行ったり、指定以外の部品を使用すると、事故やケガ・故障の原因となる場合があります。この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取付・配線作業が完了しましたら、引き続きナビゲーション本体との接続設定や、画面・画質調整などを行ってください。
全ての作業完了後、取付説明書はお客様へお渡しください。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

電話：☎ **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX： **044-572-8103**

<ご注意>

- 「0120」で始まる ☎フリーコールは、携帯電話・PHSの一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。
- 修理と部品のご購入に関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせのご案内・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。 VOL.047

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号
©パイオニア株式会社 2013
<KOKZ13H><CRA4727-A>

carrozzeria

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意（警告を含む）しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止（やってはいけないこと）の内容です。		

接続・取り付け

警告

 禁止
本機は、DC12V⊖アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

 禁止
エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしないエアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けけない

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

本製品に適合したサンバイザー形状以外の車種には取り付けけない
適合外のサンバイザーに取り付けると、事故や故障の原因となります。

警告

 禁止
不具合のあるサンバイザーには取り付けけない
取り付け前にサンバイザー部に不具合が無いか確認してください。不具合のあるサンバイザーに取り付けると、製品が落下して事故や怪我の原因となります。

製品は日の当たる場所に放置しない
また、取り付けが完了するまではコンパインナー保護シートを絶対に剥がさないください。虫メガネ効果により、周辺の発煙・発火の原因となります。

 強制
取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

日の当たる場所で作業しない
やけどや失明の原因となることがあります。
作業前はバッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告

 強制
必ず付属の部品を使用し、確実に固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

必ず付属の部品を指定通りに取り付ける
指定以外の取り付けをすると脱落による事故や故障の原因となります。

必ず付属のケーブルを使用し、確実に接続する
必ず本機に付属のケーブルを使用して、指定どおりに接続してください。本機に付属以外のケーブルを使用すると、火災や故障の原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

必ず落下防止ベルトで固定する
取り付けの際に落下防止ベルトを必ず取り付けてください。製品が落下して事故や怪我の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように配線・固定する
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

 禁止
コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない
火災や感電の原因となることがあります。

分岐配線をしない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となることがあります。

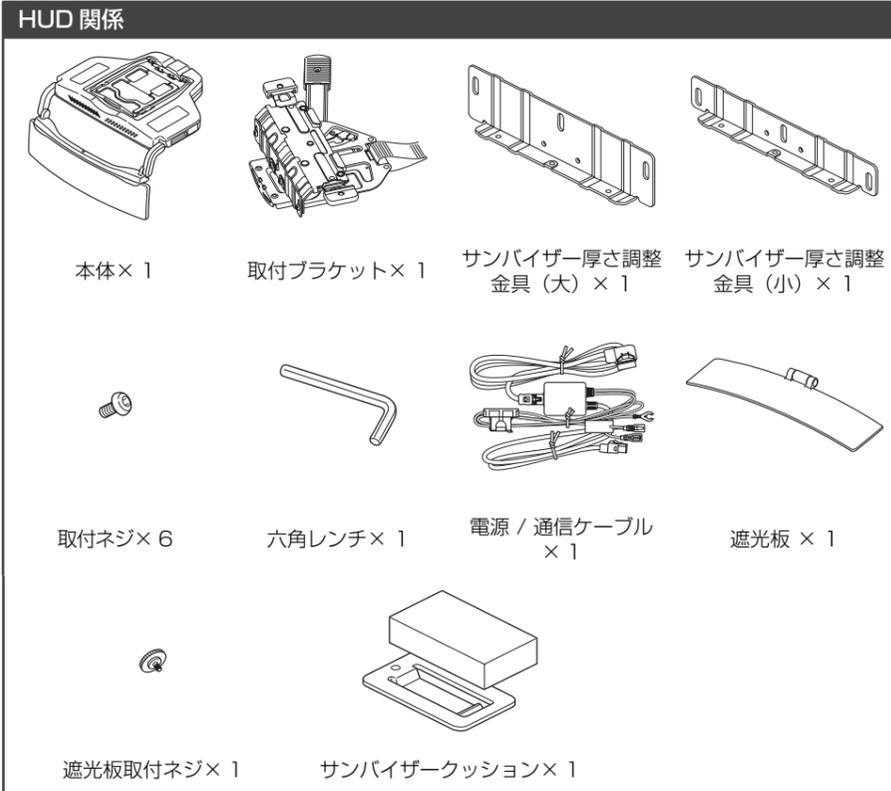
 強制
コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

はじめに

使用上のご注意

- 本機は単品では動作しません。必ず弊社製対応ナビゲーションと接続して使用してください。対応ナビゲーションについては、販売店にご確認ください。
- 弊社では、破損したデータや消去したデータの復元サービスは行っておりません。
- 本機で表現する全ての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ず実際に目視で安全を確認しながら走行してください。
- 本機を取り付けたことによる、いかなる車両価値の変動や評価などについては一切の責任を負いかねます。

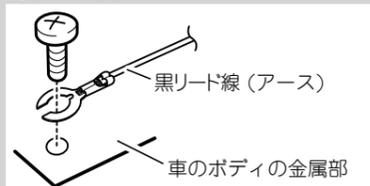
接続・取り付け部品を確認する



接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

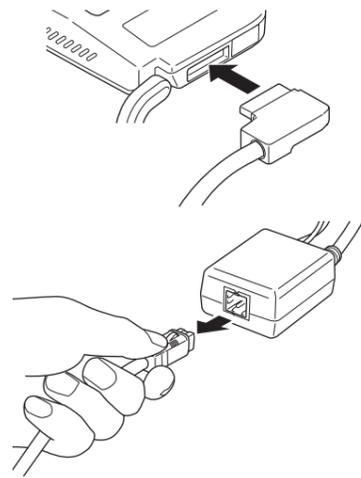
- 電源 / 通信ケーブルの黒リード線 (アース) を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 黒リード線 (アース) は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。

接続端子の脱着のしかた

- 電源 / 通信ケーブルは、本体の電源 / 通信ケーブル接続部にしっかりと押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、コネクターの向きを確認し、無理に押し込まないでください。故障の原因となる場合があります。
- 電源 / 通信ケーブルの接続端子を外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。
- 電源 / 通信ケーブルの接続端子を接続するときは、接続ユニットに "カチッ" と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、コネクターの向きを確認し、無理に押し込まないでください。故障の原因となる場合があります。



接続のポイント

ノイズ防止のために

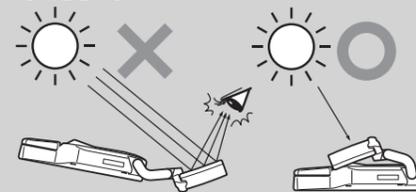
- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - ・フィルムアンテナおよびアンテナコード
 - ・FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
 - ・GPS アンテナおよびそのアンテナコード
 - ・ビーコン受信機およびそのアンテナコード
 - ・電源 / 通信ケーブル

それぞれのアンテナコード同士もできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

取り付けの前に知ってほしいこと

警告

- 落下防止ベルトを必ず取り付けてください。製品が落下して事故や怪我の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- 日の当たる場所で作業しないでください。やけどの原因となる場合があります。また、コンバイナーに反射した日光が目に入ると失明の危険性があります。コンバイナーに日光が当たるときは、コンバイナーを閉じてください。



- 本機を日の当たる場所に放置しないでください。また、取り付けが完了するまではコンバイナー保護シートを絶対に剥がさないでください。虫メガネ効果により、周辺の発煙・発火の原因となる恐れがあります。
- サンルーフが装着された車両およびオープンカーには絶対に取り付けしないでください。天井からの光がコンバイナーで反射し、強い光が集光される恐れがあります。
- 本機を取り付けた状態で、サンバイザーをサイドウィンドウ側で使用しないでください。

注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となる場合があります。
- サンバイザーライトやサンバイザー周辺のオプション品 (カードホルダーやサンバイザーミラー、ETC ユニットなど) は、本商品取り付け後は使用できなくなる場合があります。あらかじめ現車にてご確認をお願いします。
- 本機の取り付け跡がサンバイザーに残ることがあります。
- 本機は助手席に取り付けることは想定しておりません。
- 取り付け作業の際、部品やホコリなどが落下してくる場合があります。作業中は目に入らないよう製品の真下からは覗き込まないようにしてください。
- コンバイナーやスクリーン部はデリケートな部品です。取り付け作業時に素手で触ったり、工具をぶつけたりしないよう注意してください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

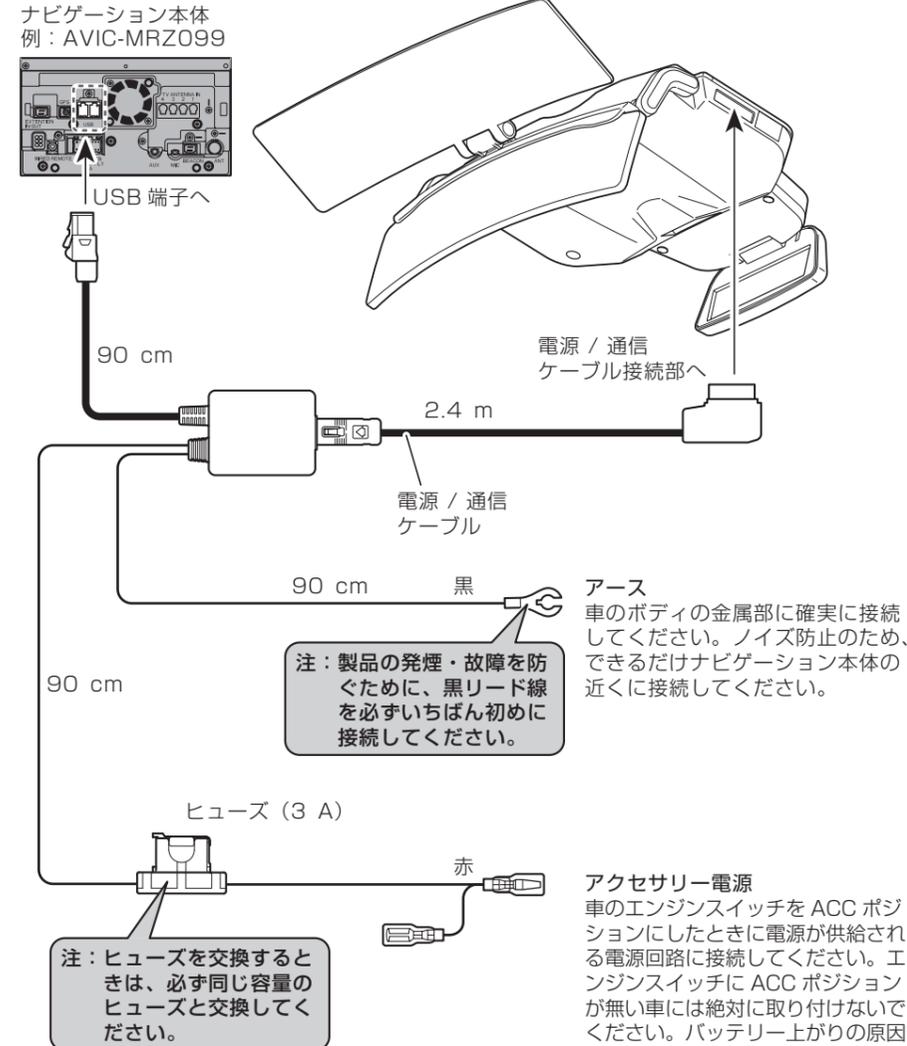
- 仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか確認してください。

固定するとき

- 本機をネジで固定するときの推奨締め付けトルクは 0.36 N・m ~ 0.59 N・m です。

接続のしかた

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。



本体の取り付け位置

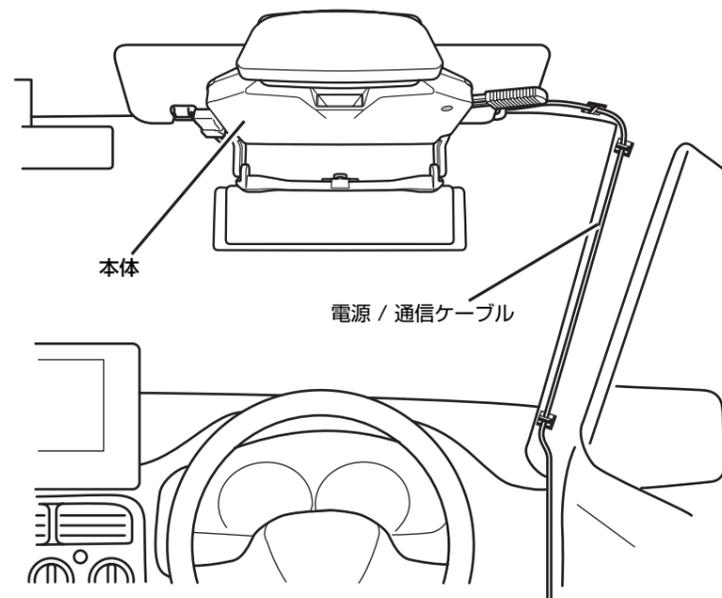
取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けてください。本機に付属以外のネジを使用すると、破損の原因となります。
- 付属のネジを使用して、確実に車両のサンバイザーに固定してください。走行中に落下して、頭などに当たると思わぬけがをする恐れがあります。
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第20条第5項に対する、細目を定める告示第182条第4項及び、別添28の技術基準をいいます。

取り付け指定位置

必ずお守りください

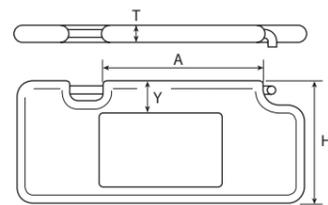
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となったりします。



取り付けの準備

1 サンバイザーを確認する

本機を取り付けるサンバイザーの厚みを確認します。本機は、以下の形状のサンバイザーに対応しています。



T: 厚み	15 mm ~ 33 mm
H: 高さ	140 mm ~ 240 mm
A: 支点間の長さ	185 mm 以上
Y: ミラーなどまでの距離	45 mm 以上 (推奨)

必ずお守りください

不安定なサンバイザーや不具合があるサンバイザーには取り付けしないでください。脱落による事故や故障の原因となります。

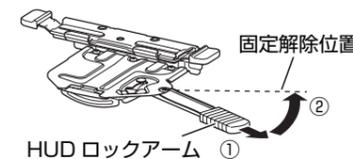
2 使用するサンバイザー厚さ調整金具を確認する

サンバイザーの厚みによって、取付ブラケットに取り付けるサンバイザー厚さ調整金具のサイズが異なります。工場出荷時は、サンバイザー厚さ調整金具(中)が取り付けられています。サンバイザーの厚みに応じたサイズのサンバイザー厚さ調整金具を使用してください。

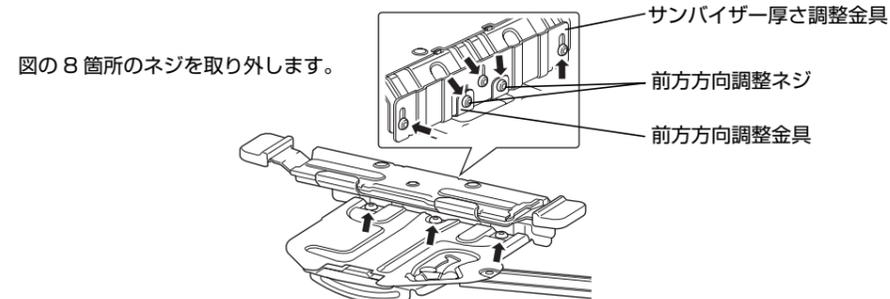
サンバイザーの厚さ	使用するサンバイザー厚さ調整金具
15 mm ~ 20 mm	サンバイザー厚さ調整金具 (小)
20 mm ~ 26.5 mm	サンバイザー厚さ調整金具 (中)
26.5 mm ~ 33 mm	サンバイザー厚さ調整金具 (大)

サンバイザー厚さ調整金具を取り換えるときは：

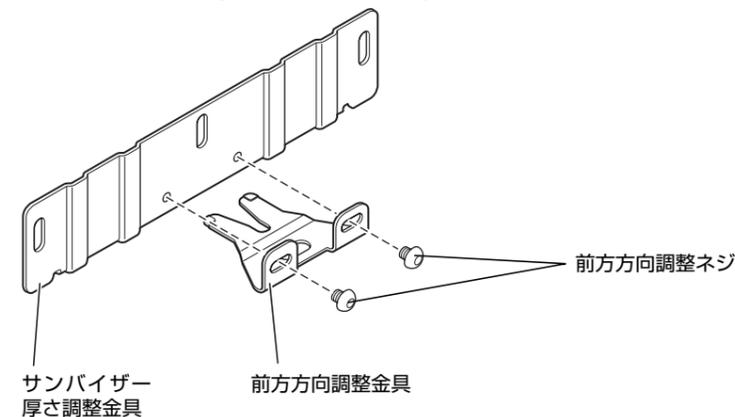
1. HUD ロックアームを引いてスライドし、固定解除位置に合わせます。



2. 取付ブラケット上の8箇所のネジ(前方方向調整ネジを含む)を取り外し、サンバイザー厚さ調整金具(中)を取り外します。前方方向調整ネジを取り外すと、サンバイザー厚さ調整金具から前方方向調整金具が外れます。



3. 使用するサンバイザー厚さ調整金具に前方方向調整金具を取り付けます。

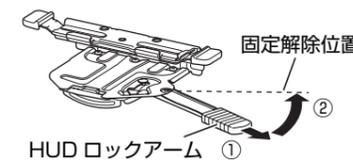


4. サンバイザー厚さ調整金具のネジ穴と取付ブラケット上のネジ穴を合わせて、取り外した残りのネジを元の位置で固定します。

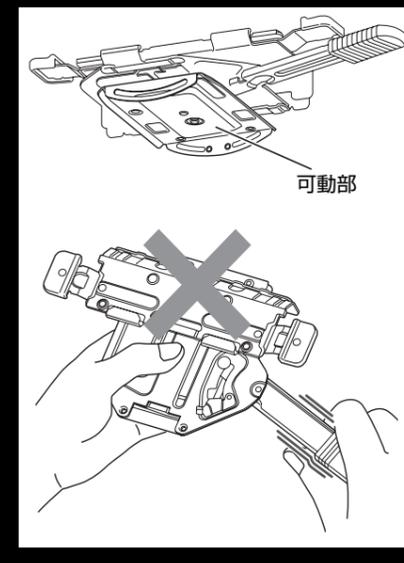
本体の取り付け

1 HUD ロックアームを固定解除位置に合わせる

HUD ロックアームを引いてスライドし、固定解除位置に合わせます。

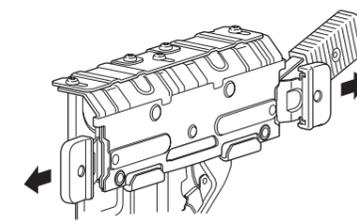


注：HUD ロックアームを操作するときは、可動部を持たないでください。可動部を持つと HUD ロックアームを動かすことができません。



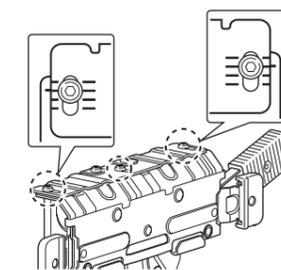
2 取付ブラケットのデタッチロックレバーの固定を解除する

デタッチロックレバーを左右に引いて固定を解除します。



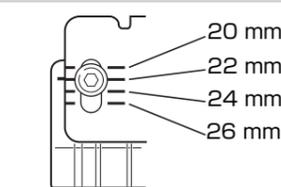
3 取付ブラケットの厚みを調整する

サンバイザーの厚みに合わせて左右の目盛位置を調整し、ネジ(3箇所)を固定します。



メモ

- サンバイザー厚み調整金具(中)の目盛の目安は以下のとおりです(イラストは22mmに調整した場合)。

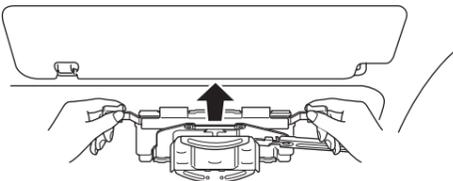


● 本体の取り付け

つづき

4 取付ブラケットをサンバイザーに装着する

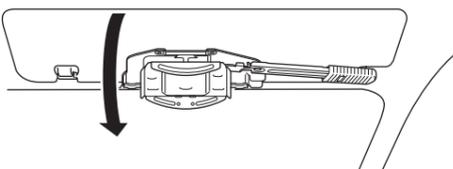
サンバイザーを水平にし、取付ブラケットのデタッチロックレバーの左右を持って奥までしっかりと押し込みます。



● メモ

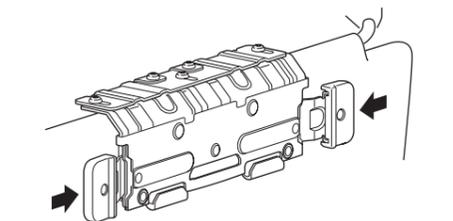
● 取付ブラケットを奥まで押し込むことができないときは、取付ブラケットの厚みを広げる必要があります。手順3に戻って目盛の位置を調整してから、再度サンバイザーに装着してください。

5 サンバイザーを垂直にする



6 取付ブラケットのデタッチロックレバーを固定する

デタッチロックレバーを左右からしっかりと押し込んで固定します。

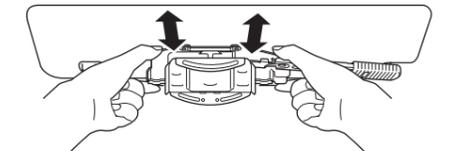


● メモ

● デタッチロックレバーが固定できないときは、取付ブラケットの厚みを広げる必要があります。手順3に戻って目盛の位置を調整してから、再度サンバイザーに装着してください。

7 取付ブラケットがしっかりと装着されているか確認する

サンバイザーを水平に戻し、取付ブラケットを前後に押し込んでしっかりと装着されているか確認します。

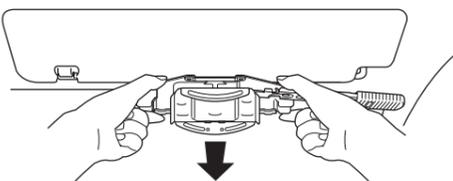


● メモ

● 取付ブラケットが簡単に抜けてしまう場合は、取付ブラケットの厚みを狭くする必要があります。手順3に戻って目盛の位置を調整してから、再度サンバイザーに装着してください。

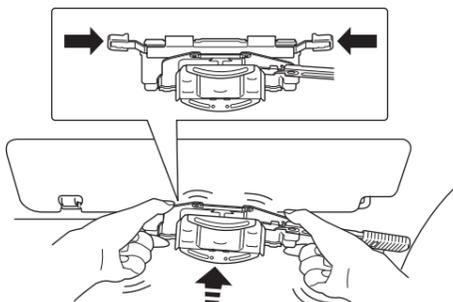
8 取付ブラケットを取り外す

サンバイザーを垂直にし、取付ブラケットのデタッチロックレバーを左右に引いて固定を解除します。サンバイザーを水平にし、取付ブラケットをサンバイザーから取り外します。



9 調整した取付ブラケットの厚みが適正かどうか確認する

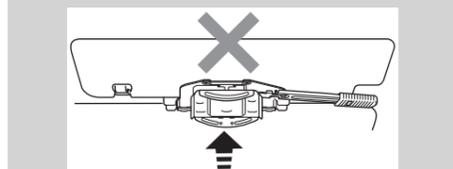
取付ブラケットのデタッチロックレバーを左右からしっかりと押し込んで固定します。デタッチロックレバーを固定した状態で、サンバイザーに簡単に装着できないことを確認します。



簡単に装着できなければ、取付ブラケットの厚みは適正です。

● メモ

● 取付ブラケットのデタッチロックレバーを固定した状態でサンバイザーに簡単に装着できる場合は、取付ブラケットの厚みが適正ではありません。



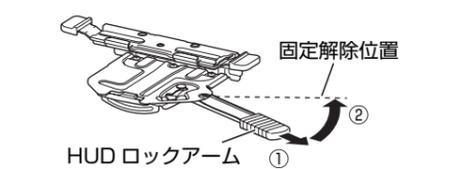
手順3に戻って目盛の位置を調整してから、再度サンバイザーに装着してください。

10 厚み調整が完了した取付ブラケットに本体を取り付ける

本体のコンパイナーとスクリーン部が閉じていることを確認し、取付ブラケットのHUDロックアームを固定解除位置に合わせます。

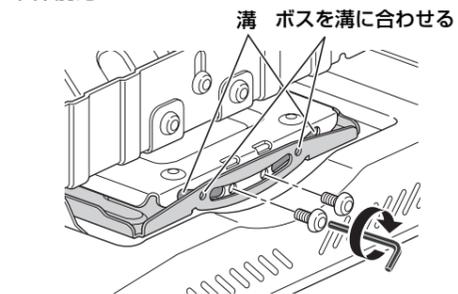


取付ブラケット：

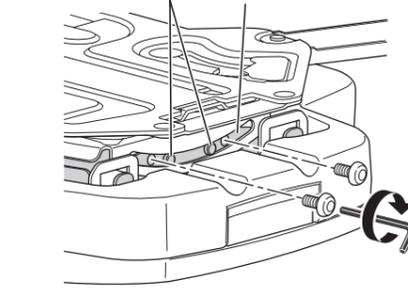


付属の取付ネジを使って、取付ブラケットと本体の前後4箇所を固定します。

本体前方：



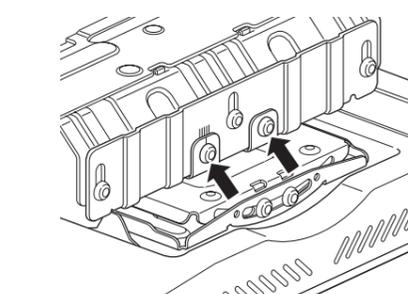
本体後方：
ボスを溝に合わせる 溝



11 手順10で固定した4本の取付ネジを一回転緩める

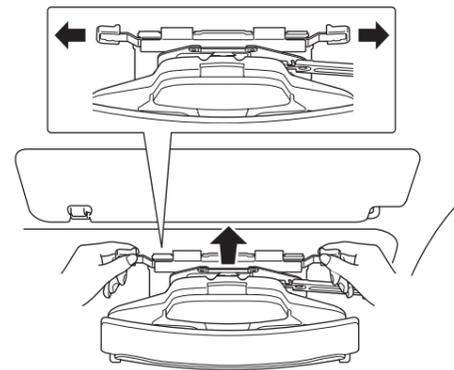
12 本機の前方向調整ネジを一回転緩める

本体前方：

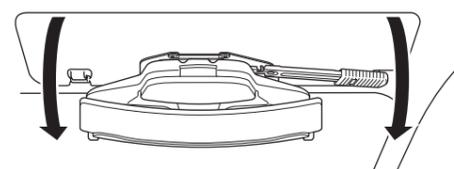


13 本機をサンバイザーに装着する

取付ブラケットのデタッチロックレバーを左右に引いて固定を解除します。サンバイザーを水平にし、取付ブラケットのデタッチロックレバーの左右を持って奥までしっかりと押し込みます。

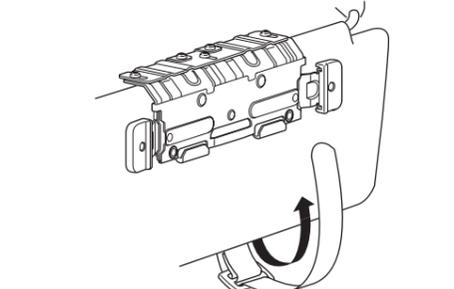


14 サンバイザーを垂直にする

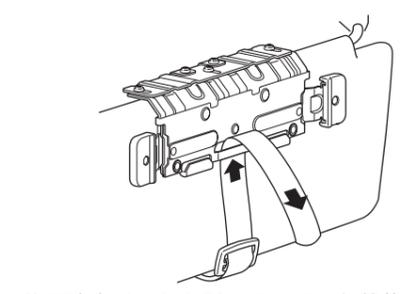


15 落下防止ベルトで固定する

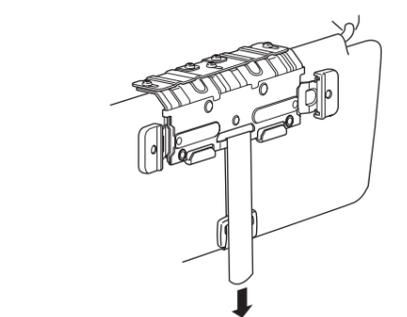
垂直にしたサンバイザーの背面から落下防止ベルトを前方に引き出します。



落下防止ベルトを図のように通します。

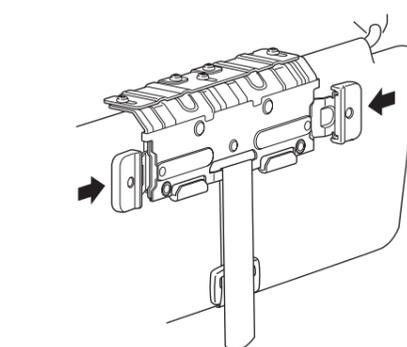


落下防止ベルトを引いて、張った状態で固定します。

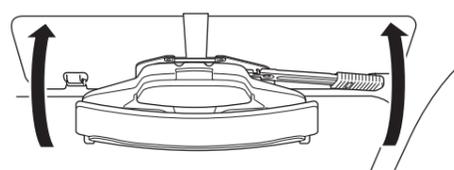


16 取付ブラケットのデタッチロックレバーを固定する

デタッチロックレバーを左右からしっかりと押し込んで固定します。

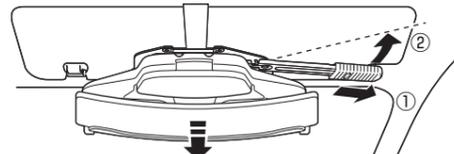


17 サンバイザーを水平にする



18 本体の位置を固定する

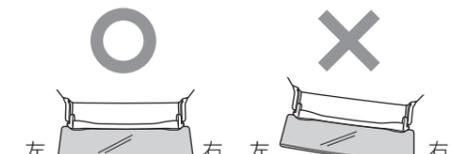
HUDロックアームを引いてスライドし、固定位置に合わせます。



本体が前方へスライドし、本体の位置が固定されます。

19 本体の傾きを調整する

本体が水平になるように傾きを調整します。



● メモ

● コンパイナーの保護シートが調整の妨げになる場合は、一旦保護シートを取り外し、調整後に再度取り付けてください。

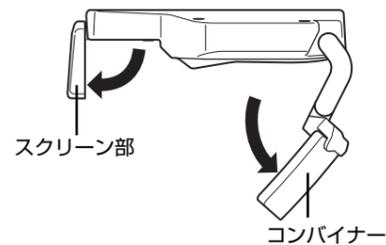
サンバイザーを縦方向に20度程度傾けて、手順11で緩めた本体後方の2本の取付ネジをしっかりと固定します。

本体の取り付け

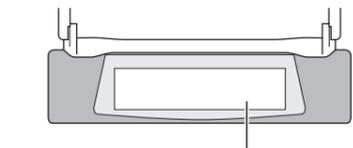
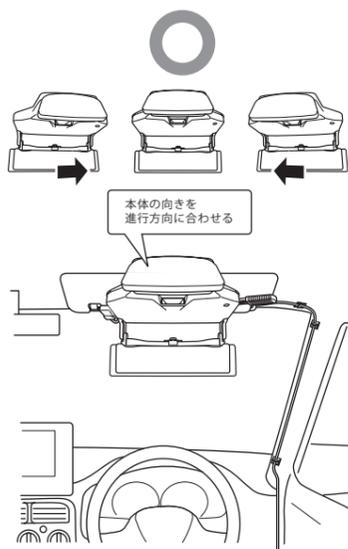
つづき

20 本体の向きを調整する

本体のコンパイナースクリーン部を開きます。



スクリーン部とコンパイナースが進行方向を向くように本体の向きを調整します。

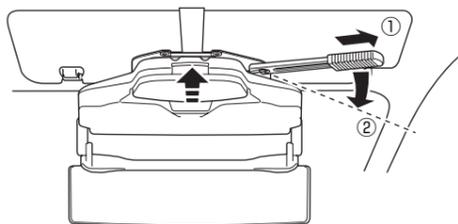


スクリーン部がコンパイナースの中央に表示されるように調整します。

注：必ず本体が進行方向を向くように調整してください。

21 本体の位置の固定を解除する

HUD ロックアームを引いてスライドし、固定解除位置に合わせます。



本体が後方へスライドし、本体の位置の固定が解除されます。

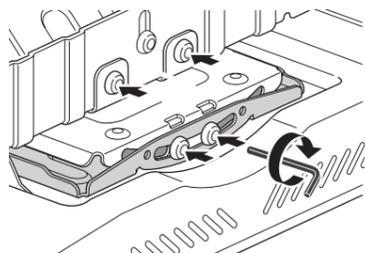
22 本機をサンバイザーから取り外す

本体のコンパイナースとスクリーン部が閉じていることを確認し、サンバイザーを垂直にします。取付ブラケットのデタッチロックレバーを左右に引いて固定を解除し、落下防止ベルトの固定を外します。サンバイザーを水平にし、取付ブラケットをサンバイザーから取り外します。

注：本機が落下しないようご注意ください。

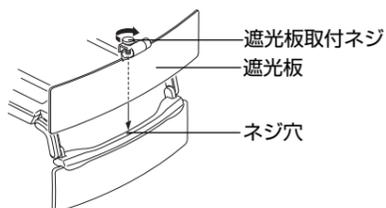
23 本体前方の取付ネジをしっかりと固定する

手順 11 で緩めた本体前方の 2 本の取付ネジと手順 12 で緩めた前方方向調整ネジをしっかりと固定します。



24 コンパイナースの保護シートを取り外す

遮光板とコンパイナース上部のネジ穴を合わせて、遮光板取付ネジで固定します。



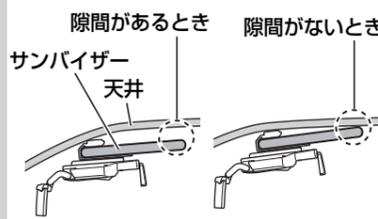
26 本機をサンバイザーに取り付ける

手順 13 ~ 17 の操作を行い、本機をサンバイザーに取り付けます。

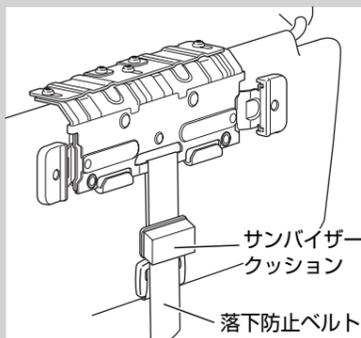
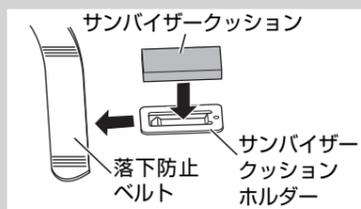
注：HUD ロックアームを固定解除位置に合わせてから、取り付け操作を行ってください。

メモ

●サンバイザーと車両の天井に隙間がある場合は、落下防止ベルトにサンバイザークッションを取り付けてください。

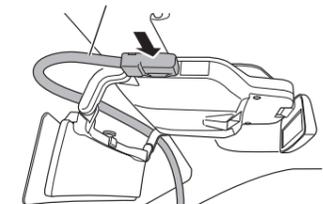


●サンバイザークッションを取り付けるときは、サンバイザークッションホルダーにサンバイザークッションを貼り付け、落下防止ベルトに取り付けてから、落下防止ベルトを固定してください。



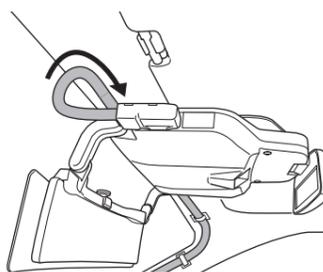
27 電源 / 通信ケーブルを本体に接続する

電源 / 通信ケーブル



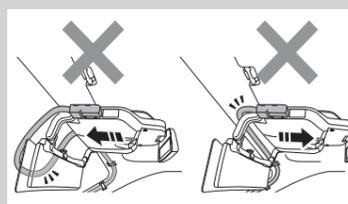
28 電源 / 通信ケーブルを配線する

運転に支障が無く、安全な視野が確保できるようにケーブルを配線します。



注：電源 / 通信ケーブルが視界をふさがないように調整してください。

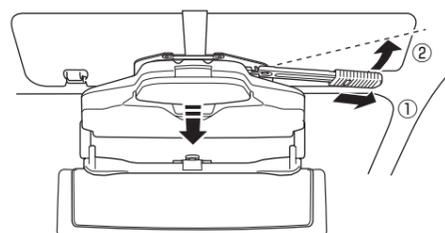
注：HUD ロックアームを操作した際の本体の前後移動の妨げにならないように、ケーブルを配線してください。



注：フロントガラスには貼付・配線しないでください。危険ですので、運転席の足元付近は、電源 / 通信ケーブルを配線しないでください。ペダルの下に挟まって運転操作を誤り、重大な事故につながる恐れがあります。

29 本体の位置を固定する

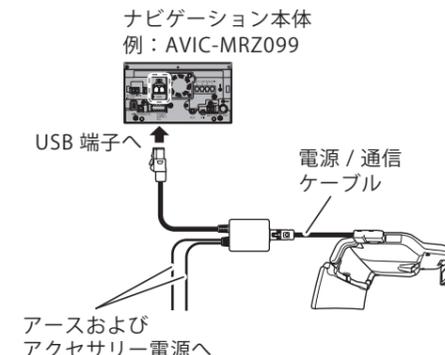
HUD ロックアームを引いてスライドし、固定位置に合わせます。



本体が前方へスライドし、本体の位置が固定されます。

30 ナビゲーション本体に接続する

電源 / 通信ケーブルをナビゲーション本体に接続します。

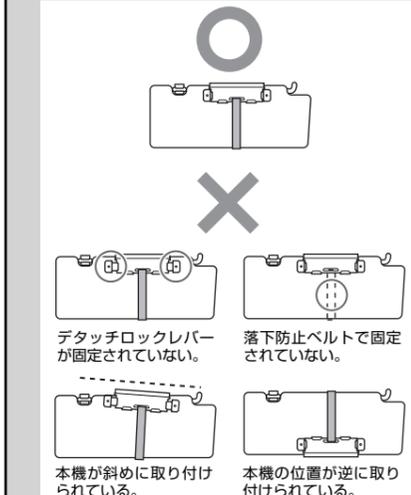


メモ

●ナビゲーション本体との接続方法と電源接続の詳細については、「接続のしかた」をご覧ください。

必ずお守りください

●本体は正しく取り付けして下さい。以下の場合には、手順 1 に戻り正しく取り付けして下さい。



●本機を使用しないときは、スクリーン部を必ず閉じてください。
●本体をサンバイザーから取り外して保管するときは、コンパイナースとスクリーン部を必ず閉じてください。また、ダッシュボード上など日光の当たる場所に本機を放置しないでください。虫メガネ効果により、周辺の発煙・発火の原因となる恐れがあります。

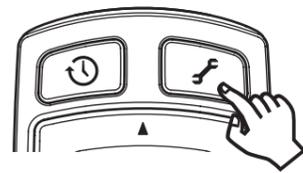
接続・取り付けが終わったら

画面・画質調整を行う

接続・取り付けが終わったら、本機の電源をON（車のエンジンスイッチをON）にし、コンパイナの角度を調整して画像が見えることを確認してください。

注：画面の輝度や周囲の状態によって、調整画面がはっきり見えない場合があります。画面の輝度を適切に調整（→「運転の前に」－「画面の輝度を調整する」）するか、調整画面がはっきり見えるような場所に移動してから操作してください。

1 設定ボタンを押す



2 ▲/▼ ボタンで [画面・画質調整] を選択し、▶ ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンを押す



■画面位置調整

描画位置を調整します。

1 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンを押す



[水平位置]	水平位置を調整します。
[垂直位置]	垂直位置を調整します。

2 ▲/▼ ボタンで格子模様の画像がすべて表示されるように調整する

例：正しく調整できている場合



例：正しく調整できていない場合



■画面サイズ調整

表示される画面のサイズを調整します。

1 ▲/▼ ボタンで表示される画面のサイズを画面端が切れないように調整する



■回転補正

画面の回転方向のずれを補正します。

1 ▲/▼ ボタンで格子模様の画像が水平・垂直になるように調整する

例：正しく調整できている場合



例：正しく調整できていない場合



■アスペクト比補正

画面のアスペクト比を調整します。

1 ▲/▼ ボタンで格子模様の画像の縦のサイズを格子が正方形になるように調整する



■歪み補正

画面の歪みを補正します。

1 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンを押す



[台形歪み]	台形のゆがみを補正します。
[湾曲歪み]	湾曲のゆがみを補正します。

2 ▲/▼ ボタンで格子模様の画像が長方形になるように調整する

例：[台形歪み] の調整



■ホワイトバランス

画面のホワイトバランスを調整します。

1 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンを押す



[赤]	赤色の輝度を調整します。
[緑]	緑色の輝度を調整します。
[青]	青色の輝度を調整します。

2 ▲/▼ ボタンで輝度を調整する

例：[赤] の調整

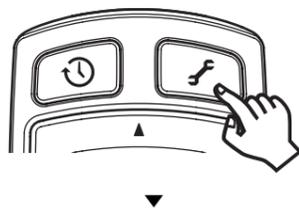


運転の前に

その他のセッティングを行う

本機に関するさまざまな設定ができます。

1 設定ボタンを押す



[HUD セッティング] 画面が表示されます。

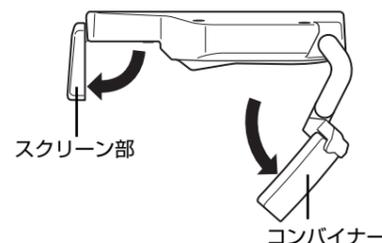
●メモ

- [HUD セッティング] 画面に表示されるメニューは、接続するナビゲーション本体によって異なります。詳細については、本機と接続するナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』やWEB配信または有償の「ユーザーズガイド」をご覧ください。
- 設定中に [設定] ボタンを押すと、[HUD セッティング] 画面が閉じます。

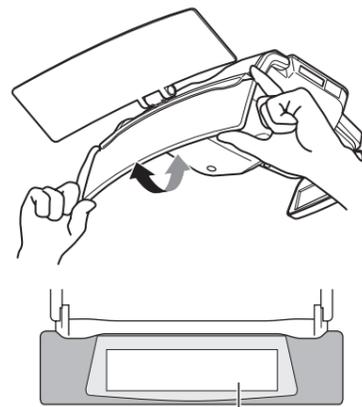
コンパイナの角度を調整する

座席位置に合わせて、コンパイナの角度を調整できます。

1 本体のコンパイナとスクリーン部を開く



2 スクリーン部全体がコンパイナに映るようにコンパイナの角度を調整する



スクリーン部がコンパイナの中央に表示されるように、コンパイナを調整します。

⚠注意

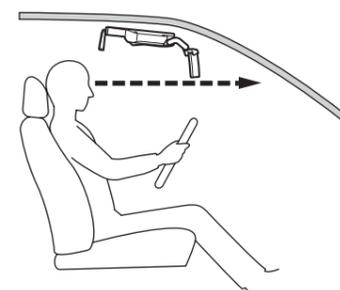
- コンパイナの角度を調整する場合は、コンパイナの縁を挟むように掴んで調整してください。

乗り降りの際に

本機に頭などをぶつけないように注意してください。

コンパイナの正しい位置

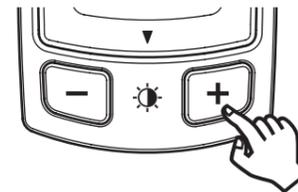
座席に座り実際のドライビングポジションでまっすぐ前を見たとき、コンパイナ下端がドライバーの視線より上にあることを必ず確認して使用してください。コンパイナ下端がドライバーの視線より下にある場合には、本機は使用しないでください。コンパイナを収納位置に折りたたみ、運転視界を確保してください。



画面の輝度を調整する

ディマー機能により周囲の明るさに合わせて自動的に輝度を調整します。
[+] / [-] ボタンを使ってディマーのレベルを調整することができます。

1 [+] / [-] ボタンを押す



●メモ

- 輝度を調整すると、色味も若干変わって見える場合があります。

注：夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整してください。事故の原因となることがあります。